

ご議論頂きたい事項（キックオフレポートの構成関係）

1. 戦略展開の基本的な考え方について

- ・九州の特長を生かした戦略展開を図ることが必要
「九州らしさ」を生かした戦略展開を分かりやすい形で表現したい

2. 九州らしい戦略の展開（案）について

（1）「圏土構造」の展開の方向性

国際交流フロンティアの形成

- ・我が国において、東アジアとの地理的近接性、歴史文化的つながり、共通課題への対応等における高いポテンシャルを発揮
東アジアの経済発展のダイナミズムを取り入れ、発展する九州圏を形成

九州圏が一体的に発展する活動（産業アイランド構想等）の展開

- ・地域特性（東アジアとの近接性、温暖な気候、地形的特性、労働力等）により、各地域に特色ある産業が集積
- ・グローバル化に対応した産業の競争力、高付加価値化が必要
地域特性を生かした特色ある産業の展開と九州圏の一体的な発展
九州圏の島（アイランド）として連帯感（一体感）を持った取組を推進

（産業アイランドのイメージ）

現行（6産業アイランド）

- 【カー】自動車産業の集積、内発的産業化
 - 【シリコン】半導体産業の集積、国際競争力の強化
 - 【オーシャン】造船産業の国際競争力の強化
 - 【マテリアル】素材系産業の高付加価値化、産業間連携の強化
 - 【フード】食料基地としての発展、豊かな食文化の形成
 - 【ヒーリング】自然環境や地域資源、健康・医療等による癒しのある観光空間の形成
- ##### 次世代（4産業アイランド）
- 【エコ】環境・エネルギー分野の技術等の集積環境の形成、広域的な静脈物流の形成
 - 【インテリジェント】基幹都市圏における知識財産業の集積
 - 【ナノ・セルテック】バイオ、LSI等の基礎分野や微細計測・加工技術等の集積による新産業創出
 - 【ロボット・エアロスペース】ロボット、航空宇宙、海洋関連分野での新産業の育成

（2）「九州の自立」の単位の考え方

- ・九州圏として一体的な発展により自立を図る「九州自立広域圏」
- ・都市と自然の近接性を生かした交流連携により自立を図る「都市自然交流圏」
- ・生活関連サービスや地域活力の維持・確保により自立を図る「基礎生活圏」
都市圏、生活圏の二層ではなく、三層で自立を捉え直していく

(三層の自立圏のイメージ)

【九州自立広域圏(九州圏全体、基幹都市圏を核、広域的な安全・安心)】

・個性ある国際交流・連携・協力を行うための一定のまとまりある経済圏、広域自立圏として、九州圏の広域的な機能分担と連携により一体的な発展を図る自立圏域

【都市自然交流圏(基幹・拠点都市圏を核、基幹・拠点都市圏と多自然居住地域の連携)】

・適度に分散した基幹・拠点都市圏と多自然居住地域の交流連携による豊かな生活環境を実現するための自立圏域

【基礎生活圏(生活中心都市を核、生活関連サービス圏)】

・人口減少下であっても生活関連サービスを維持し、地域社会の機能や活力を確保するための自立圏域

(3)「広域的な対応」における展開の方向性

交流連携軸の形成

- ・特色ある基幹都市圏による多極型圏土構造が形成
 - ・基幹・拠点都市圏の周りには、農山漁村や豊かな自然環境が隣接
- 適度に分散する基幹都市圏や都市と自然を結びつけ、新たな発展を促進
高次都市機能・生活支援機能を充実・相互利用することにより、広範囲で享受
できる生活環境を形成

ネットワーク化による対応

- ・離島半島、中山間地域等の地理的制約が厳しい地域が多数存在
 - ・個性ある基幹都市圏では多様な知識集積、地域資源が集積
- 九州圏の取組をネットワーク化により効果的に展開

例)【防災、医療、子育て、環境】社会的サービス等を広域的にカバー

【知的】多様な知識集積による発展

(ネットワーク化のイメージ)

【防 災】災害対応、復旧の広域的な対応

【医 療】救急医療施設1時間圏の拡大

【子育て】広域的な周産期医療ネットワークの形成

【環 境】エコロジカル・ネットワークに配慮した事業・活動の連携

【知 的】研究開発等における九州圏全体のテーマ分担、連携

3. 戦略から想定される対応のイメージ(たたき台)について

- ・資料5「7つの戦略から想定される対応のイメージ(たたき台)」を参照

以上